

# 福島第二原子力発電所で保管している試料等の 福島第一原子力発電所への輸送について

< 参 考 資 料 >  
2024年9月5日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所(以下、福島第一)においては、2011年3月11日の事故から2013年7月に化学分析棟を整備するまでの間、事故の影響により構内の分析施設を使用することが困難な状況であったため、福島第二原子力発電所(以下、福島第二)に試料等(以下表参照)を輸送・分析し、分析を終えた試料等は、福島第二において適切に保管しています。
- 福島第二で保管している試料等については、福島第一に輸送する予定としており、9月中旬から準備作業を開始し、2025年度から2027年度内を目途に、順次輸送する予定です。
- 福島第二から福島第一への輸送にあたっては、試料等の漏えい防止対策を適切に講じたうえで実施するとともに、福島第一へ輸送した後も適切に処理・保管します。また、輸送が完了するまでの間、福島第二において引き続き適切に保管します。

## <福島第二から福島第一に輸送する試料等>

状態	種別	内容物	保管量	線量率※ (mSv/h)	福島第一へ輸送後の 処理・保管方法
液体状	建屋内水	建屋内滞留水 等	約1m <sup>3</sup>	4	福島第一の建屋内滞留水や瓦礫等と同様に 処理・保管・管理する
		使用済燃料プール水等系統水	約1m <sup>3</sup>	0.2	
	構内水	サブドレン汲み上げ水 等	約1m <sup>3</sup>	0.1	
	環境水	港湾内外の海水	約11m <sup>3</sup>	0.1	
固体状	土	構内の土壌	約2.2トン	<0.01	
		港湾内外の海底土			
	プラスチック,ガラス,金属 等	各種の資機材 等	約18m <sup>3</sup>	今後確認予定	

※保管容器(ボトル等)の表面におけるガンマ線最大線量率